

# サウスウインドツール

---

## 取扱説明書

---

# SCD-9000

---

### ご使用前に必ずお読みください

- ・取扱説明書をお読みになっていない方の本機のご使用は、禁止とさせていただきます。
- ・安全に、効率よくご使用いただくため、必ず取扱説明書を最後までお読みになり、内容をすべて理解した上で、機械を使用してください。
- ・取扱説明書をお読みになった後は、お手元に大切に保管し、紛失された場合は、弊社営業店までご連絡ください。

2012 年 6 月現在

---

# 目次

項目	掲載ページ
製品を安全にお使いいただく際のご注意	P2
一般的共通事項 ⚠警告	P3～5
一般的共通事項 ⚠注意	P6・7
ご使用上の注意 ⚠警告	P8～11
各部の名称	P12
仕様	P13
事前準備	P14～18
使用手順	P19～21
点検とお手入れ ⚠警告	P22
トラブルシューティング	P23
ご修理の際は	P24
MEMO	P25・26

# 製品を安全にお使いいただく際のご注意

このたびはサイズミックコアドリルをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書は安全に正しい作業でご使用いただけるように、注意事項をまとめたものです。

それぞれの機械に対してそれぞれの特徴があるのと同様に、その危険性にも特徴があります。各機械の注意事項は後のページで記述をしてありますので、この項については一般的共通事項としてご理解していただき、各機械の注意事項と併せてご注意ください、安全な作業を行っていただきますようお願いいたします。

本取扱説明書に記載されている操作方法および、安全に関する注意事項は、本取扱説明書で説明されている使用目的に使用する場合のみに関するものです。本取扱説明書に書かれていない使用方法で作業を行うことはおやめください。

注意事項は「△警告」・「△注意」に区分をして記述をしています。

お守りいただかないと作業者が死亡・または重傷にいたる恐れのある注意事項は「△警告」、作業者が障害を負う人身事故につながる恐れのある内容および機械の破損、故障が発生する恐れのある注意事項を「△注意」として記載しています。

なお、「△注意」と記載された事項であっても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ずお守りください。

## 一般的共通事項



## 警 告

- ★この製品は、本取扱説明書で説明されている以外の用途には絶対にお使いにならないでください。
- ★本取扱説明書に従い、正しい取り扱いで安全に作業してください。お子様や正しい取り扱いを十分知らない方、正しい操作が出来ない方には絶対に使わせないでください。また、機械の使用者を特定し、取扱指導を受けてからお使いください。取扱指導を受けずに機械の操作をすることはやめてください。
- ★湿気はモーターの絶縁性を低下させ、感電事故のもとになります。雨中、湿った場所、ぬれた場所、機械内部に水や油の入りやすい場所などでは使用しないでください。
- ★万一の感電事故を防止するために、漏電遮断器を通した電源をご使用ください。なお、二重絶縁品を除き必ず正しい接地【アース】をしてください。
- ★整理整頓は安全の第一歩です。作業台、作業場所は十分に明るくし、常に整理整頓に心がけてください。ちらかった場所は事故の原因となります。
- ★電動工具は使用中に整流火花を発生します。またスイッチの開閉時にも火花を発生します。ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤等、引火または爆発の恐れがある物質のある場所では危険ですので絶対に使用しないでください。また、密閉された部屋、坑内等の換気の悪いところでの使用は絶対にやめてください。
- ★作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。とくにお子様は危険です。また作業員以外は、電動工具や電源コードなどに触れさせないでください。

★きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服、ネックレスなどの装身具、ネクタイ、袖口の開いたもの、首に巻いたタオル、編手袋等は機械の回転部に巻き込まれる恐れがあり危険ですので身につけないでください。

★安全のため、ヘルメットを着用し、ゴム底の安全靴をはいてください。

★作業中は保護めがねをご使用ください。多くの場合、目の保護のため保護めがねが必要です。保護めがねは作業内容に応じたものを、お近くの機械工具店等でお買い求めください。また、ほこりが多く出る場合は、防塵マスクと集塵機(集塵装置)を併用して使用してください。

★刃物類は、指定された純正部品を使用してください。指定外のものでは、思わぬ事故をまねくことがありますため、絶対に使用しないでください。

★刃物類や付属品の取り付けは正規の位置に正規の方法で、指定工具を使用し確実に行ってください。締め付け不足や締めすぎは危険です。また、取り付けてあるカバー類やネジ類などはそれぞれ大事な役目を果たしておりますので取り外さないでください。

★ネジ類の緩み、脱落がないか運転前に必ず確認し、緩みが生じていた場合には増し締め、脱落していた場合には修理に出してください。

★刃物類や部品、付属品の取り付けや点検をしたとき使用したスパナ、レンチ、ネジ回しなどの工具類の撤去(撤収)を忘れずと起動時に飛散し思わぬ事故のもとになり危険です。絶対忘れないよう起動前に再確認してください。また、回転固定装置なども運転前に必ず再確認してください。

★電源は必ず銘板及び本取扱説明書に表示してある電圧でご使用ください。表示以上の電圧で使用されますとモーターの回転が異常に高速となり、モーター、機械本体、刃物などが破壊する恐れがあり危険です。また、逆に低い電圧でご使用されましてもモーター故障の原因となります。

★差し込みプラグを電源に差し込む前に、機械が突然始動しないようにスイッチが切れていることを確認してください。

★差し込みプラグを電源に接続した状態で機械を持ち運ばないでください。

スイッチに指をかけていなくても衣服や他の場所にスイッチが引っかかる場合があります、誤ってスイッチが入ってしまったときに思わぬ事故につながる場合があります。

★無理な姿勢での作業は危険です。常に足場に注意して安定した姿勢で作業してください。

★運転中、機械の調子が悪い場合や異常に気がついた場合は、直ちに運転をやめ、点検・修理に出してください。

★機械や付属品は、その能力をこえての使用や、急激な操作はしないでください。  
無理な作業は、機械の損傷を招くばかりでなく、危険ですので避けてください。

★機械の運転中は、絶対に刃物類や回転部および切り屑に触れないでください。  
また、手や顔などを近づけないでください。

★使用後および、刃物類・消耗品・部品・付属品の交換、掃除、点検、停電等の際は、必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。

★機械を使用しないとき、点検・整備をするとき、または刃物類や付属品を交換するときには必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。

★常に安全に能率よくご使用いただくため定期点検をしてください。

修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となりますので、点検・修理はお買い求めの販売店または発売元の各営業店にお申しつけください。なお、部品を交換する場合は、必ず指定された純正部品をお使いください。

## 一般的共通事項



## 注 意

- ★機械は大事に取り扱ってください。誤って落したり、ぶついたりしますと変形したり、亀裂や破損を生じる場合がありますので十分ご注意ください。もし、誤って落したり、ぶついたりした場合には、必ず使用前に十分な点検を行い、安全を確認してから使用してください。また異常が確認された場合には、直ちに修理に出してください。
- ★電源コードをつかんで製品を運んだり、電源コードを引っばって電源から引き抜いたりしますと電源コードを痛め、断線・ショートの原因となります。また、電源コードが刃物類、高温のもの、薬品などに触れないように注意してください。電源コードが損傷した場合は直ちに作業を中止し、修理に出してください。延長コードやドラムコードを利用される場合、低電圧となり十分な性能が得られません。必ず厚2mm以上、長さ30m以内のものを全て引き出し、伸ばした状態で使用してください。
- ★機械の風窓はモーターを冷やすために必要な部分です。ほこりが飛ぶからといってふさがないでください。もしふさいだりしますとモーターの温度が上がり焼損の原因となります。
- ★常に機械の手入れに心がけ最良の状態で保管してください。とくにモーター部やスイッチ部のほこりは汚れのひどい時だけでなく、毎使用後に拭き取るよう心がけてください。また、電源コードは油やグリスなどによって劣化しないようにいつもきれいに清掃しておいてください。
- ★刃物類は常に手入れをし、いつも切れ味の良い状態でご使用ください。切れ味が悪いと仕上げ面が悪くなるばかりでなく、モーターが過負荷となり故障の原因となり、作業能率も上がりません。

★機械や付属品は次のような場所に保管してください。

- お子様の手が届かない所、または錠のかかる所
- 温度や湿度の急変しない所
- 雨のかからない、湿気のない所
- 直射日光のあたらない所
- 引火または爆発の恐れがある揮発性物質のない所

### 騒音防止規制について

★騒音に関して、法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。

周囲に迷惑をかけないように各条例で定める騒音規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁等を設けて作業してください。

### 回 二重絶縁について

★二重絶縁とは、電流の流れる導体などの部分と人の触れる部分が、それぞれ別な絶縁物で二重に絶縁された構造を言います。

二重絶縁モーターでは、たとえ一つの絶縁部分がこわれても、もう一つの絶縁で保護されており、感電に対する安全性が高くなっております。

このような電動工具を二重絶縁工具と呼び、回マークを表示しております。

しかし、こわれた状態で使用を続けると感電事故を招く恐れがありますので修理に出してください。



# ご使用上の注意

## ・警告

先に電動工具ご使用上の一般的注意事項について申し述べましたが、さらにどの製品にもその製品特有の注意事項があります。これからご使用いただくサイズミックコアドリルについては、下記の事項に特にご注意願います。

### 1. 正しい用途で安全作業

本機はコンクリートへの穿孔を目的とした工具です。この用途以外には使用しないでください。コンクリートへの穿孔中に鉄筋など埋設物にあたった場合は、現場監督者の指示に従ってください。

### 2. 指定以外の電圧で使用しない

指定以外の電圧で使用しますと、モーターが焼けるなどの事故の原因となります。

**指定電圧の上下 5%以内で使用してください。**

直流電源ではお使いにならないでください。製品の損傷を招くばかりでなく、危険です。現場で、延長コードを用いた場合に指定電圧より降下する時は、途中でパワーブースター(昇圧トランス)を接続し100Vにて使用してください。

### 3. 電源の確認

差し込みプラグを電源に差し込んだとき、ガタがある状態や、すぐ抜けるような場合は修理が必要です。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

### 4. 感電に注意

本機は、モーターを使用しておりますので、雨または、雪の中では使用しないでください。

## **5. 最大能力を超えた作業はしない**

仕様欄にある本機の最大能力を超えた作業はしないでください。また、指定以上の硬い材料に穿孔することはおやめください。機械の故障の原因となるほか、材料が破損するなどして大変危険です。

## **6. 正しい取り扱いで安全な作業を**

取扱説明書に従い、正しい取り扱いで安全に作業してください。お子様など正しい取り扱いを十分に知らない方、正しい操作ができない方には絶対に使わせないでください。

## **7. 作業前に再点検**

コアビットがワンタッチアダプターにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

使用時はコアビットの振れ防止のため、必ず排水パットをご使用ください。

## **8. 冷却水の確認**

給水コックを開いた際に冷却水がでることを確認してください。

本機は、乾式では使用しないでください。水を供給しないで長時間回転させると、本機内部にあるゴム部品が加熱し破損します。

また、水供給の際、適切な方法（水道、圧力タンク、水中ポンプ）で圧送してください。水圧が極端に低すぎますと、コアビットの先端まで冷却水が回らない場合があります、コアビットの破損につながります。

## **9. 安定した姿勢で安全作業を**

無理な姿勢での作業は危険です。常に足場に注意して安定した姿勢で作業してください。また、ご使用の際は、ハンドルを必ず取り付け、本体を両手で確実に保持してください。確実に保持していないと、振り回されてけがをする恐れがあります。

## **10. 高所作業は下に注意**

高所で作業される場合には、下に人がいないことをよく確かめて作業してください。本機を置く場合は安全で安定した場所に置くようにしてください。

### 11. 作業中には周囲の人にも注意

作業を行う時は、必ず周囲を確認してください。

### 12. 異常が起きたらすぐ運転中止

運転中、機械の調子が悪い場合や、異常に気がついた場合には、直ちに運転をやめ、点検・修理に出してください。

### 13. 点検・清掃時は、差し込みプラグを電源から抜く

点検・清掃の際には、電源プラグを必ず抜いてから行ってください。誤ってスイッチを入れてしまうと危険です。

### 14. 保護めがね・保安帽・安全靴・皮手袋を使用してください。

作業中は、保護めがね・保安帽・安全靴・皮手袋をつけて、機械から目を離さず作業をしてください。特に清掃をする時は、必ず皮手袋をしてください。

### 15. スロースターター機構の搭載

安全のために、スロースターター回路が組み込まれています。

**コアマシンを始動させる際は、スイッチを 1 秒以上押してください。**

### 16. サーキットプロテクタ

モーターに負荷が生じると、サーキットプロテクタが作動し、スイッチが OFF になります。

サーキットプロテクタのスイッチを確認し、OFF となっている場合は RESET (通電) ボタンを押します。

連続して過負荷が生じた場合は、5 秒以上たってから RESET を押してください。

(サーキットプロテクタ内部が発熱していると、RESET を押しても OFF に戻ります。)



## 17. 変速ダイヤルの調整

本機は、回転数を調整することができる変速ダイヤルが付いております。

ダイヤルA ( $2900\text{min}^{-1}$ )  $\Rightarrow$  B ( $4200\text{min}^{-1}$ )  $\Rightarrow$  C ( $6000\text{min}^{-1}$ )  $\Rightarrow$  D ( $7600\text{min}^{-1}$ )  $\Rightarrow$  E ( $9000\text{min}^{-1}$ ) の順に回転が速くなります。

穿孔作業中、回転数が足りないと感じた場合は、ダイヤルの位置を確認してください。

スムーズに穿孔を行うためには、最高回転(ダイヤルE)でご使用ください。

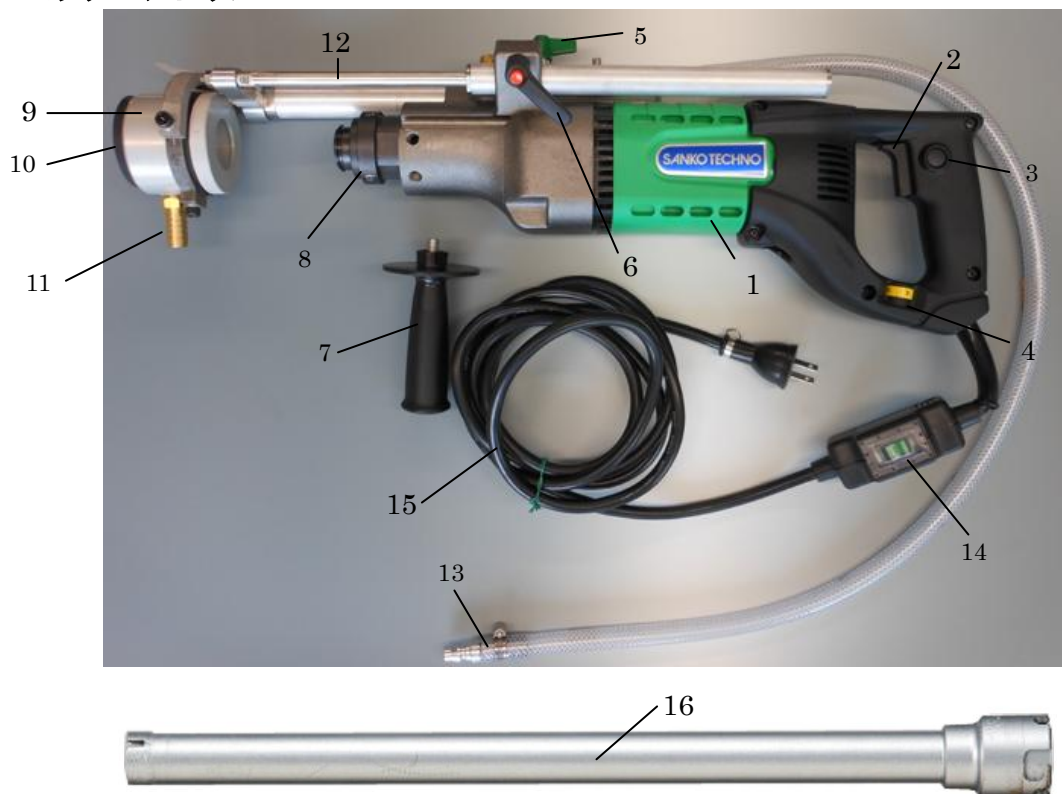
冷却水の出が悪い場合は、回転数を遅く(ダイヤルC～D)にしてください。

## 18. リサイクルシステムの併用について

市販のリサイクルシステムを併用した場合、フィルターの濾過能力が低いと、ノロが多量に通り抜け、ワンタッチアダプターおよびコアビットにノロが付着し、コアビットの着脱が困難となる場合があります。ノロが多量に付着しないよう、定期的な点検、清掃を心がけてください。

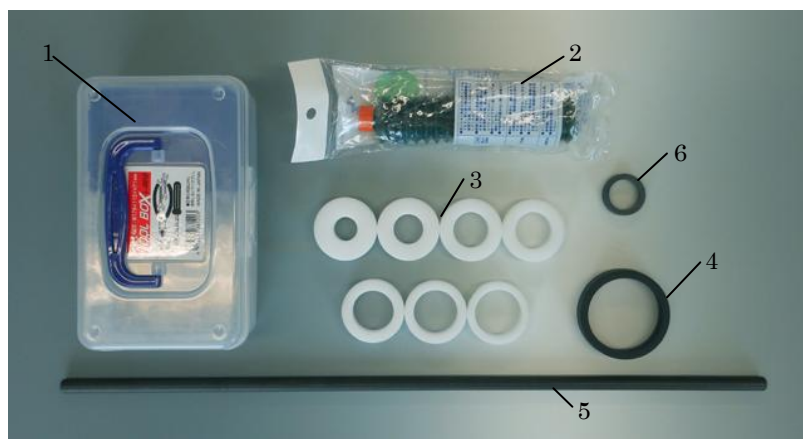
# 各部の名称

## サイズミックコアドリル SCD-9000



- |            |                |                  |
|------------|----------------|------------------|
| 1. コアドリル本体 | 8. ワンタッチアダプター  | 15. 電源コード(電源プラグ) |
| 2. スイッチ    | 9. 排水パット       | 16. 専用コアビット(別売)  |
| 3. ロックスイッチ | 10. ゴムリング      |                  |
| 4. 変速ダイヤル  | 11. 排水ニップル     |                  |
| 5. 給水コック   | 12. ダンパー       |                  |
| 6. クランプレバー | 13. 給水プラグ      |                  |
| 7. ハンドル    | 14. サーキットプロテクタ |                  |

## 標準付属品



- |  |
|--|
| 1. 収納ケース                                       |
| 2. グリス   |
| 3. ガイドリング(7 サイズ)<br>(φ 16、20、24、25、28、30、32mm) |
| 4. ゴムリング(予備)                                   |
| 5. コア抜き棒                                       |
| 6. オイルシール(予備)                                  |
| 取扱説明書(本書)・クイックガイド                              |

# 仕 様

## 本体仕様

型 式	SCD-9000
電 源	単相交流 100V(50/60Hz)
電 流	定格12A(最大20A) 回
外 形 寸 法	(L)457×(W)100×(H)193mm
質 量	5.7kg
無 負 荷 回 転 数	ダイアル A...2900 min <sup>-1</sup> ダイアル B...4200 min <sup>-1</sup> ダイアル C...6000 min <sup>-1</sup> ダイアル D...7600 min <sup>-1</sup> ダイアル E...9000 min <sup>-1</sup>

※製品改良のため、予告なしに外観・仕様等を変更することがあります。

標準付属部品にあるガイドリング・ゴムリング・オイルシールは消耗品の  
ため、摩耗や変形が見られましたら交換が必要です。お買い求めの販売  
店または発売元の各営業店にご確認の上、新しいものをお買い求めく  
ださい。

# 事前準備

## ●本体及び付属品の確認

ケースを開け、以下のものが揃っているか確認してください。

- ・SCD-9000 本体 ・ダンパー・排水パット・ハンドル ・グリス
- ・コア抜き棒 ・ガイドリング(7サイズ)・ゴムリング(予備)
- ・オイルシール(予備)・クイックガイド
- ・取扱説明書(本書)



## ●コアビットの用意

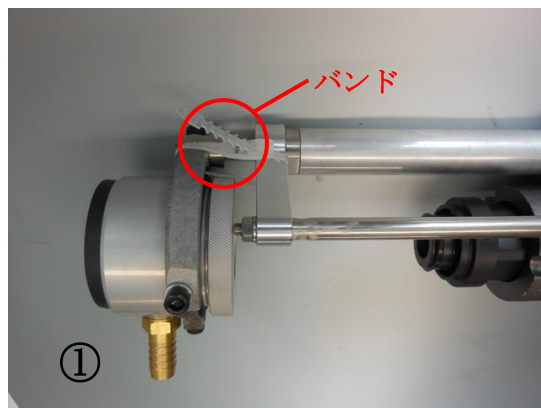
使用するコアビット(別売)のサイズおよび穿孔深さを確認し、排水パット厚(60mm)をプラスし、コアビットへマーキングします。

例) 穿孔深さ 250mmの場合、 $250\text{mm} + 60\text{mm} = 310\text{mm}$ の位置へマーキング。



## ●取り出し・本体の組み立て

①SCD-9000 本体を取り出し、ダンパーを固定しているバンドを外します。

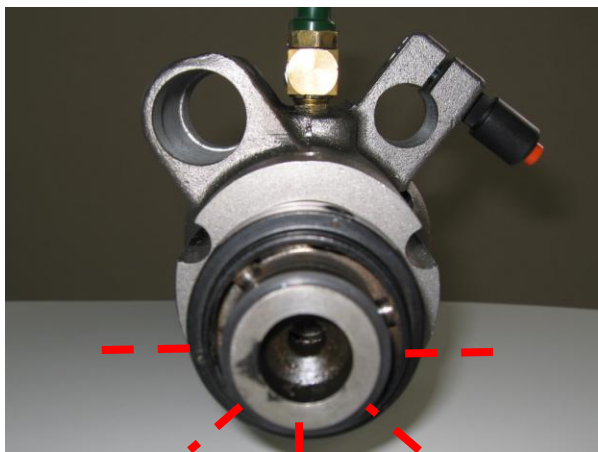


②排水パットのカバーを外し、使用するサイズのガイドリングを入れます。

③カバーを締め付けます。(ねじ込み)



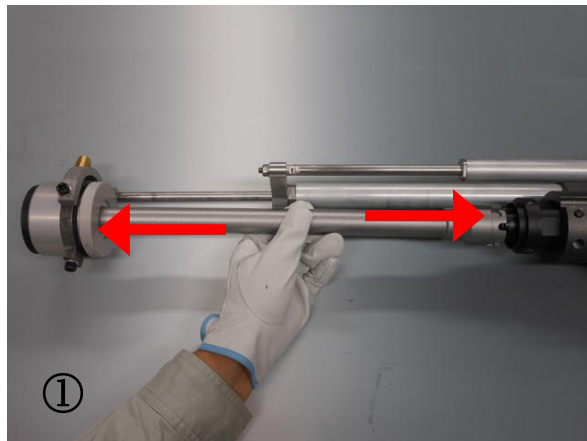
5箇所あるハンドル取り付け位置(写真左)の中で、使いやすい位置にハンドルを取り付けます。(写真右のようにねじ込み)





## ●コアビットの装着

①排水パットにコアビットの先端を通してから、ワンタッチアダプターに装着します。



②コアビット側の半丸凹部とワンタッチアダプター側の丸凸部の位置が合うようにジョイントさせます。

\* コアビットを回転させながら位置を合わせると挿入が容易となります。



③ワンタッチアダプターのカバーをコアビット側へスライドさせます。

(バネが効きますので引き上げるような感じとなります。)

④コアビットの切欠きに沿うよう、カバーを矢印の方向へ回します。

(穿孔面に対して左回転) カバーを押さえる力を緩めると、カバーが本体側に戻り、コアビットがロックされます。

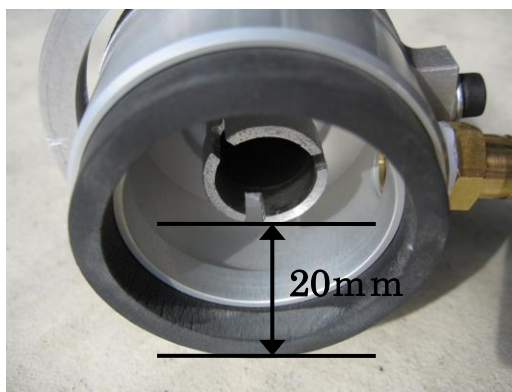


## ●排水パットの位置調整

- ①クランプレバーを緩め、コアビットの長さに合わせて排水パットの位置を調整します。（クランプレバーを手前に引き上げると、レバーのみの位置を変更できます。）

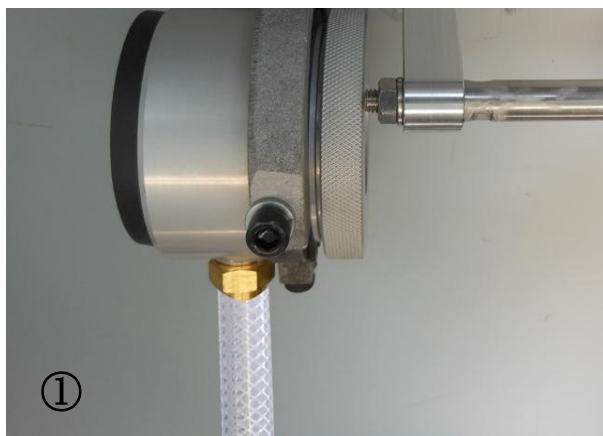


- ②コアビットの先端が排水パットの端部より20mm程度内側に入るようにセットします。



## ●給排水のセット

- ①排水パットのニップルに排水用のホースを接続します。  
②給水プラグに冷却水を供給するホースを接続します。



## ●電源接続・動作確認

差し込みプラグを電源に差し込みます。

サーキットプロテクタのスイッチがRESETになっていることを確認します。

本体のスイッチを入れ、始動することを確認します。



(注)本機は、安全面を考慮し、スロースターター機構を搭載しております。  
本機を始動させる際は、スイッチを1秒以上押してください。

※冷却水を供給せずに長時間空転させると、本体の故障の原因となります。

# 使用手順

## ●水供給・水量調整

給水プラグのcockで水量を調整します。

穿孔時の水量は、0.8ℓ/分以上必要です。少なすぎますと、コアビットの先端まで冷却水が回らず、コアビットの破損やチップの早期摩耗につながります。



## ●位置決め、穿孔

穿孔する位置を確認し、排水パットを穿孔面にあてがいます。

\* このときコアビットの先端が対象物に当たらないように注意してください。



スイッチを押し、コアビットを最高回転にします。

コアビットが対象物に対し、垂直であることを確認し、ゆっくり押し付けます。

(注) コアビットの先端がしっかりと食いついていることを確認してください。

母材表面上を滑るようであれば、位置合わせをやり直してください。

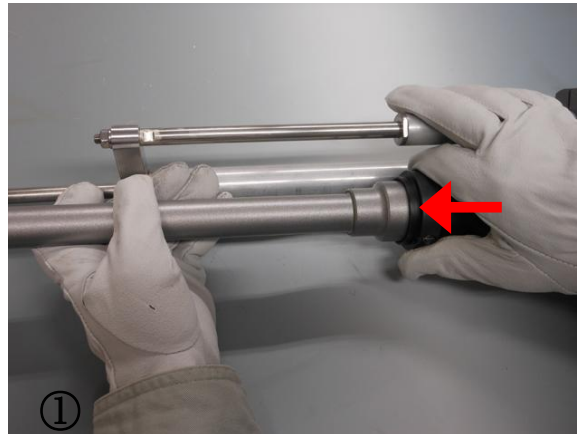
指定深さの穿孔が終わりましたら、コアビットを回転させたまま引き抜きます。

※ コアビットを回転させずに引き抜きますと、引っ掛かる恐れがあります。

スイッチを切り、回転を止めて電源プラグを外します。

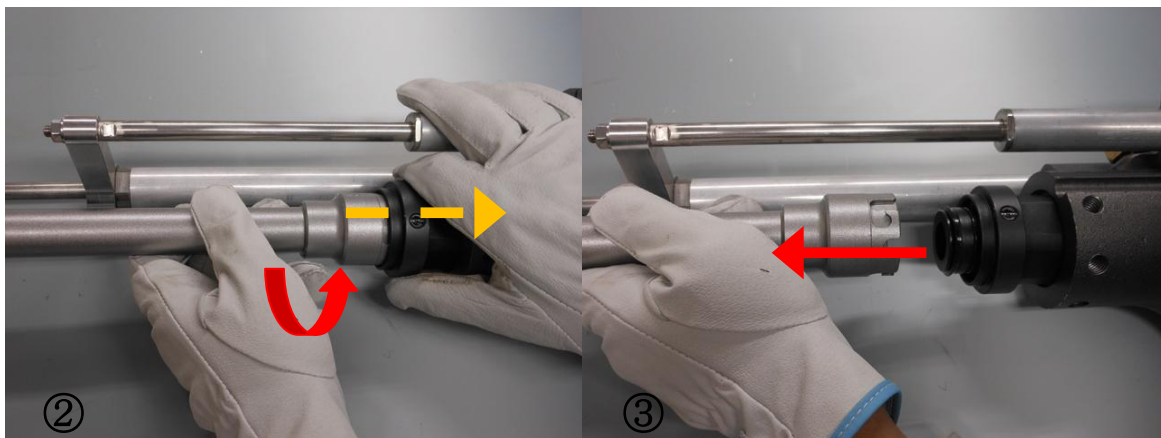
## ●コアビットの取り外し

- ①コアビットを持ち、ワンタッチアダプターのカバーをコアビット側にスライドさせます。



- ②スライドさせたカバーを矢印の方向へ回します。(穿孔面に対して右回転) カバーを押さえる力を緩めると、カバーが本体側に戻り、ロックが解除されます。

- ③コアビットをアダプターから引き抜きます。ノロ等で汚れている場合は、潤滑スプレー等を吹き付けて、きれいな状態に保ってください。





## ●残材の取り出し

コアビットの内部に残った残材は、コアビット先端からコア抜き棒を挿入し、押し出します。(写真左)

(注)コアビットの装着部端面を叩きつけますと、変形がおこり、コアビットの着脱不良につながります。(写真右)



# 点検とお手入れ

## ⚠ 警告

コアドリルの点検とお手入れを行うときは、必ず、差し込みプラグが電源に差し込まれていないことを確認してください。

### 1. 使用後のお手入れ

本機のモーターおよびグリップ部の外枠は強靱な合成樹脂ですが、ガソリンシンナー・石油・灯油類を付着させると表面を痛めます。清掃の場合は、乾いた布、もしくは石けん水を付けてよく絞った布などで拭いてください。

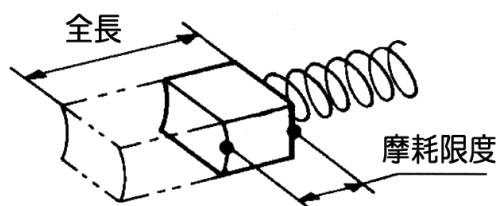
### 2. 各部取り付けネジの点検

各部取り付けネジの緩んでいるところがないかを定期的に点検してください。もし、緩んでいるところがありましたら、締め直してください。緩んだままですと危険です。

### 3. カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因になります。長さが摩耗限度(6mm)ぐらいになりましたら、新品と交換してください。また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。



カーボンブラシ交換の際はセットで交換します。  
カーボンブラシは弊社純正品をお使いください。

### ※カーボンブラシの交換方法

カーボンブラシはブラシキャップをはずし、マイナスドライバーなどでカーボンブラシのツバをひっかけて取り出します。

# トラブルシューティング

故障かな？と思ったときは、以下の点をお調べください。それでもなお異常があるときは、使用を中止して修理等のご依頼をお願いします。

症状	原因	対策
モーターが作動しない	スロースターター機構がきいている	1 秒以上スイッチを押す
	サーキットプロテクタが作動	スイッチが OFF の場合は RESET を押す。
	主電源の不良	他の工具を接続して試す
	電源に差し込みプラグを差し込んでいない	電源に差し込みプラグを差し込む
	電源コード、差し込みプラグの不良	メーカーにて修理
	電子部品の不良	メーカーにて修理
	モーターなどの作動部品不良	メーカーにて修理
モーター音はするが、コアビットが回転しない	ギア不良(ギア摩耗)	メーカーにて修理
穿孔中、モーターが停止した	差し込みプラグが電源から抜けた	差し込みプラグを電源に差し込む
	過度の押し付けやコアビットのセリなどによる過負荷の発生 (サーキットプロテクタが作動)	コアビットを母材から引き抜き、再度、穿孔を行う (スイッチがOFFの場合はRESETを押す)
	カーボンブラシの摩耗(寿命)	カーボンブラシを点検し、寿命の場合は交換する
	電子部品の不良	メーカーにて修理
	モーターなどの作動部品不良	メーカーにて修理
穿孔速度が低下する (切れ味が悪い)	コアビット(チップ)の目詰まり	GC砥石やブロックにて研磨を行う
	コアビットの摩耗(寿命)	新品のコアビットと交換する
穿孔時の振動が大きい (コアビットがガタつく)	コア残材折れ、コア残材詰まりが生じている	コア残材を取り除く
ワンタッチアダプター部の着脱が困難	ワンタッチアダプターが汚れている (ノロの付着)	水洗い、市販の潤滑スプレーを吹き付けるなどして洗浄する
	コアビットのワンタッチ着脱部端面が変形している	新品のコアビットを使用する
コアビットの芯振れが大きく、対象物への食い付きが悪い	ガイドリングを使用していない ガイドリングのサイズが合っていない ガイドリングが摩耗している	コアビットと同じサイズのガイドリングを装着する ガイドリングが摩耗している場合は、新品のガイドリングを使用する。
コアマシンの主軸(ベアリング)から水漏れ	乾式施工によるベアリングの破損	メーカーにて修理



## ご修理の際は

本製品は厳密な精度で製造されておりますが、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらずにお買い求めの販売店または発売元の各営業店にご確認願います。

十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となりますので修理の知識や技術のない方は修理・分解を行わないでください。

MEMO

Handwriting practice lines consisting of multiple horizontal dashed lines for tracing and solid lines for independent writing.

MEMO

Lined area for writing the memo.

サンコーテクノグループ  
製造元 **株式会社IKK**

本 社／〒410-0001 静岡県沼津市足高 396-59

お客様相談窓口(技術サービス・メンテナンス)  
(フリーダイヤル)

TEL  0120-22-8812

受付時間:祝日を除く月曜日～金曜日 9:00～17:00

IKKホームページ <http://www.diamond-ikk.com>

発売元 **サンコーテクノ株式会社**  
本 社／〒270-0114 千葉県流山市東初石 6-183-1

(大代表) TEL 04-7178-5535

サンコーテクノホームページ <http://www.sanko-techno.co.jp/>

東京事業所	〒110-0003 東京都台東区根岸5-13-16	TEL 03-5824-3501	FAX 03-5824-3580
首都圏営業	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-8181	FAX 04-7157-8787
札幌支店	〒003-0012 北海道札幌市白石区中央二条6-4-18	TEL 011-865-6251	FAX 011-865-6256
仙台支店	〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-2-8	TEL 022-236-2533	FAX 022-236-2537
名古屋支店	〒454-0869 愛知県名古屋市中川区荒子2-128-3	TEL 052-355-3501	FAX 052-355-3502
大阪支店	〒578-0956 大阪府東大阪市横枕西6-23	TEL 072-960-7735	FAX 072-960-7737
福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川4-11-24	TEL 092-587-0188	FAX 092-504-7300
新潟営業所	〒955-0092 新潟県三条市須頃3-3-1	TEL 0256-32-7428	FAX 0256-32-7429
横浜営業所	〒240-0002 神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町1-3-1	TEL 045-340-3517	FAX 045-334-0071
静岡営業所	〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹2-3-48	TEL 054-237-0102	FAX 054-237-2917
金沢営業所	〒920-0363 石川県金沢市古府町南297	TEL 076-240-3535	FAX 076-240-7286
岡山営業所	〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田564-232	TEL 086-296-8031	FAX 086-296-8130
広島営業所	〒730-0844 広島県広島市中区舟入幸町16-15	TEL 082-294-3308	FAX 082-294-3306
高松営業所	〒761-8044 香川県高松市円座町391-5	TEL 087-885-7431	FAX 087-885-7430
鹿児島営業所	〒892-0836 鹿児島県鹿児島市錦江町8-53	TEL 099-225-8311	FAX 099-225-8328
リニューアル工事部	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-7735	FAX 04-7157-8835
広島事業所	〒731-5128 広島県広島市佐伯区五日市中央5-2-50	TEL 082-943-7200	FAX 082-924-1235
マテリアル営業部	〒270-0163 千葉県流山市南流山3-10-7	TEL 04-7157-9935	FAX 04-7157-9700
流山事業所	〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-44	TEL 04-7152-5111	FAX 04-7155-1684
野田工場	〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬2490-3	TEL 04-7198-1711	FAX 04-7198-3733
奈良工場	〒630-8452 奈良県奈良市北之庄西町2-2-3	TEL 0742-62-4581	FAX 0742-62-4583
中央物流センター	〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-44	TEL 04-7153-8611	FAX 04-7152-7877
西部物流センター	〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田564-232	TEL 086-296-8317	FAX 086-296-8052